

Clinical Question 6

上腕骨外側上顆炎患者に対する体外衝撃波療法は推奨できるか？

推奨 上腕骨外側上顆炎患者に対する体外衝撃波療法は、条件付きで推奨する。

□推奨の条件；あり

・医師の判断により重症度が高く難治性に移行している場合

□推奨の強さ：当該介入の条件付き推奨

□エビデンスの強さ：C（弱い）

□作成グループ投票結果

当該介入に反対する強い推奨	当該介入に反対する条件付き推奨	当該介入・対照双方に対する条件付き推奨	当該介入の条件付き推奨	当該介入の強い推奨	推奨なし
0% 0名	11% 1名	11% 1名	78% 7名	0% 0名	0% 0名

◆CQの構成要素（PICO）

P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし	年齢	20 歳以上
疾患・病態	上腕骨外側上顆炎の診断を受けた者	その他	手術療法・ステロイド注射治療を併用するものは除外
I (Interventions) / C (Comparisons, Controls, Comparators) のリスト			
体外衝撃波療法 / 偽治療			
O (Outcomes) のリスト			
Outcome の内容			
O1	疼痛		
O2	筋力		
O3	肘関節機能評価		
O4	治療の成功		
O5	手術への移行		

解説

◆CQの背景

本邦における上腕骨外側上顆炎の有病率は 4%程度といわれている。有病期間は半年から数年かかることもあり、難治例には手術が行われる。肘関節外側の疼痛を主訴とする疾患であり、PC 使用者、重量物運搬者だけでなく、介護者、包丁使用者にも多い。临床上、物理療法として体外衝撃波療法が行われているが、その効果は賛否両論であり、その効果について、検討することとした。

◆エビデンスの評価

採択された 5 論文の内¹⁻⁵⁾，安静時痛で RCT2 編、活動時痛で RCT3 編、握力で RCT2 編、肘関節機能評価で RCT2 編、治療の成功で RCT2 編、手術への移行で RCT1 編であり、重要性の高いアウトカムのエビデンスの質より、総括的な確実性は C（弱い）と考えられた。介入の方法が統一されてお

らず、非直接性が疑われる。また推奨の決定にあたって、活動時痛のメタアナリシスに採用した論文が3編と少ないことは考慮すべきである。

◆益と害のバランス評価

中期（6 か月以上）継続する疼痛（活動時痛）の軽減を期待でき、肘関節機能の改善にも効果がみられる。一方で、治療の成功率や手術への移行率に差がなく、効果が大きいとは言えない。

◆患者の価値観・希望

患者の視点として、大きな侵襲はないものの実施時には疼痛を伴い、かつ費用負担も大きいことから、治療の受け入れはさまざまであると考えられる。また本治療法は施設によって導入の有無が異なっていることから、実施を希望する際には施設を選定する必要がある。

◆コストの評価

上腕骨外側上顆炎の症状により考えられる問題点として、個人レベルで就労の制限により収入の減少や非常に少ない割合だが手術による医療費等が考えられる。体外衝撃波療法は保険適応でなく、自費診療となり、その費用は施設によって異なる（一回当たり 10000 円前後）。体外衝撃波療法の実施による手術の回避にはつながらず、治療費の軽減は考えにくい。

◆文献・検索式は Web 掲載 <http://>

- 1) CA Speed, D Nichols, C Richards, et.al.: Extracorporeal shock wave therapy for lateral epicondylitis-- a double blind randomised controlled trial. J Orthop Res 20:895-898, 2002
- 2) Frank A Pettrone, Brian R McCall: Extracorporeal shock wave therapy without local anesthesia for chronic lateral epicondylitis. J Bone Joint Surg Am 87: 1297-1304, 2005
- 3) EY Melikyan, E Shahin, J. Miles, et al: Extracorporeal shock-wave treatment for tennis elbow. A randomised double-blind study. J Bone Joint Surg Br 85 : 852-855, 2003
- 4) N Capan, S Esmailzadeh, A Oral, et al: Radial Extracorporeal Shock Wave Therapy Is Not More Effective Than Placebo in the Management of Lateral Epicondylitis: a Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Trial. Am J Phys Med Rehabil 95: 495-506, 2016
- 5) B Chung, JP Wiley: Effectiveness of extracorporeal shock wave therapy in the treatment of previously untreated lateral epicondylitis: a randomized controlled trial. Am J Sports Med 32: 1660-1667, 2004